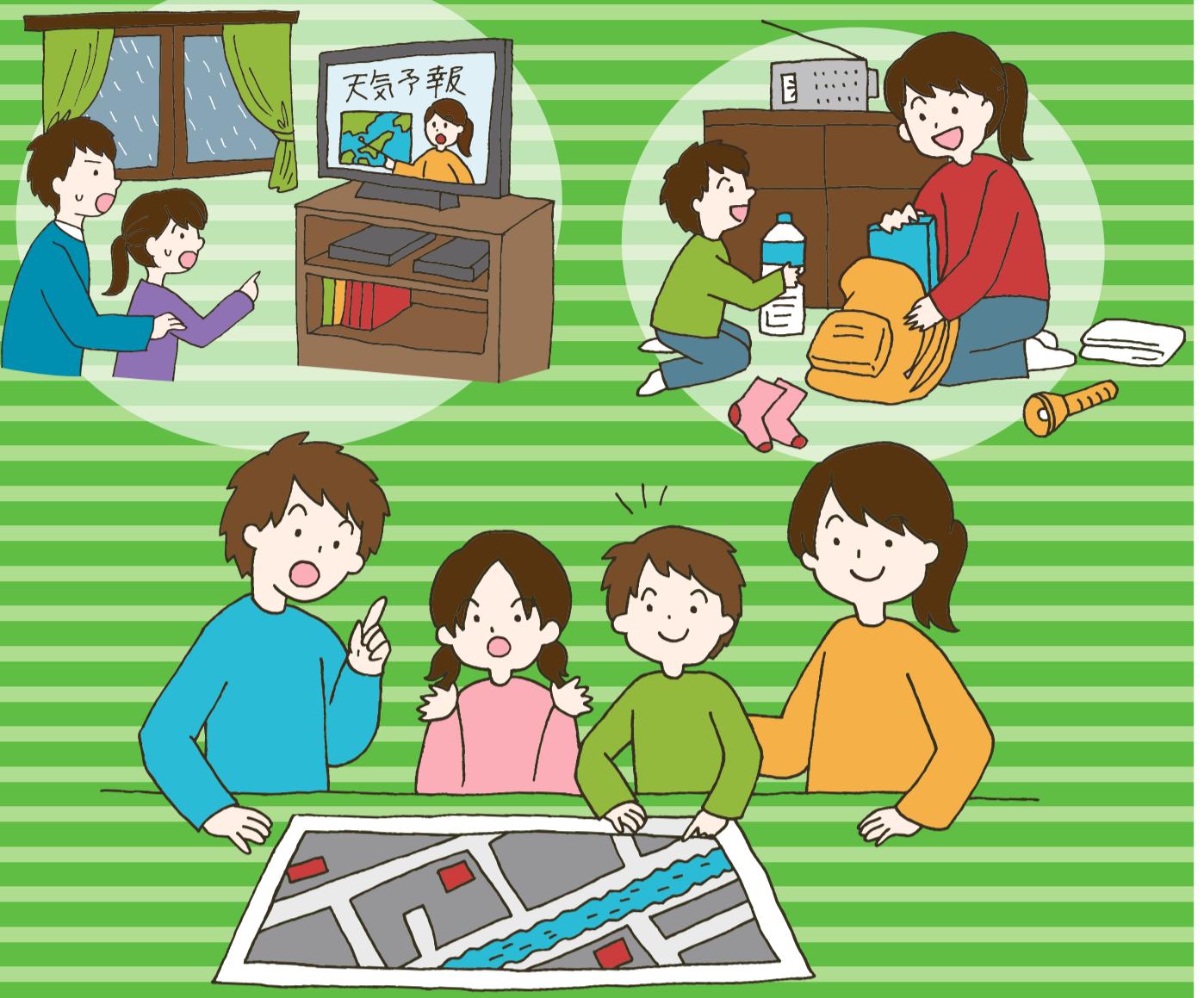


まつやま 洪水ハザードマップ

堂ノ元川・洗地川版

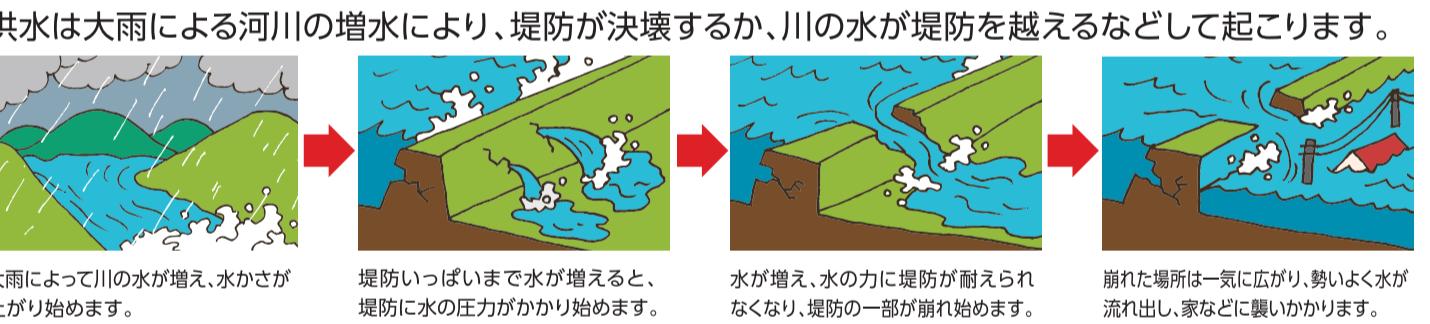


意識と準備が命を守る!

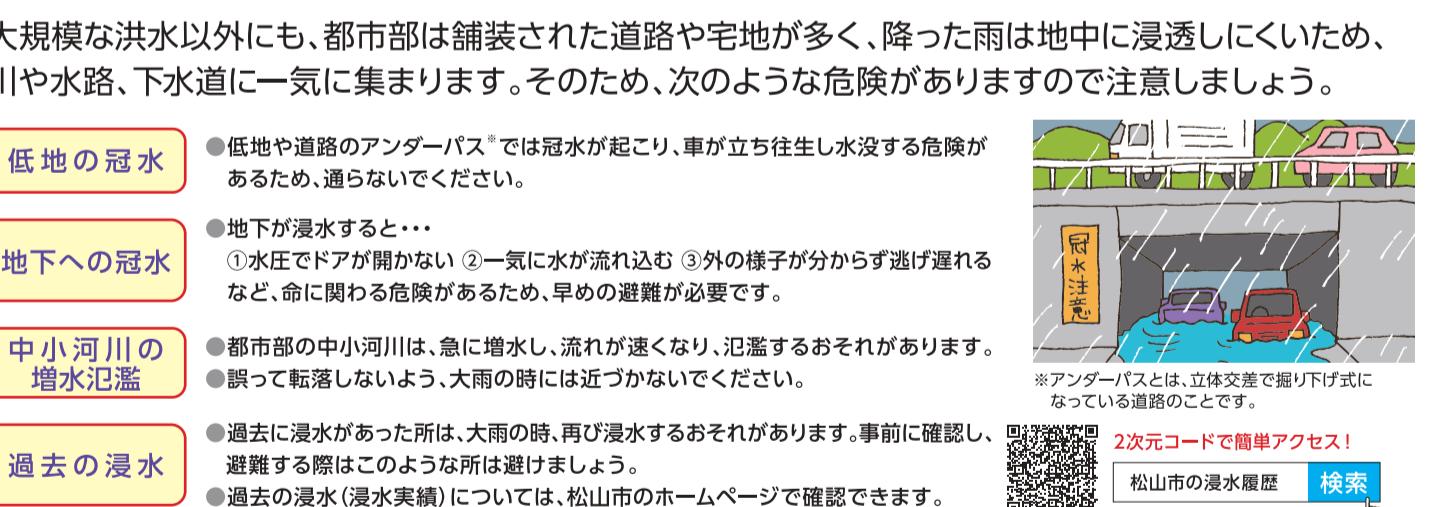
松山市

洪水から身を守る

洪水発生のメカニズム



都市型水害について知る



雨の強さと降り方、災害発生の目安

	1時間雨量(mm)	10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	
人の受けるイメージ	ゲーザーと降る	どしゃ降り	パケツをぱくぱく返したように降る	滝のように降る(ゴゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある	
人への影響	地面から路面上まで足元がぬかるる	傘をさして立ても濡れる	傘を全く立てなくなる			
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞こえない		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水しきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる			
車の運転	ワイヤーを走かして見えない	高速走行時、車輪・路面の間に雨水があり、ブレーキがきかなくなる。	車の運転は危険			
災害発生状況	この程度でも、長く降ればくとときは注意が必要。	倒木や下水道、小さな川があふれ、小規模のかけられ木がある。	都市部では地下道路や下水管に雨水が流れ込む場合がある。また災害警戒区域では避難の準備が必要。都市部では下水道から雨水が漏出する。土砂災害が起こりやすくなる。	多くの大規模な災害が発生するおそれがあり、嚴重な警戒が必要です。		

*表に示した雨量と同じであっても、降り始めからの総雨量や地形・地質などの違いによって、被害の様子は異なることがあります。

わが家の防災メモ

ハザードマップを使ってわが家の防災メモを完成させましょう!
地図を確認して、該当するところにチェックを記入しましょう。

自宅の灾害リスク	
浸水深	<input type="checkbox"/> 水面無し <input type="checkbox"/> 0.5m未満 <input type="checkbox"/> 0.5~3.0m <input type="checkbox"/> 3.0~5.0m <input type="checkbox"/> 5.0~10.0m
漫水想定区域	<input type="checkbox"/> 想定区域内 <input type="checkbox"/> 想定区域外
避難の方法 このハザードマップを参考にして、避難の方法を確認しましょう。	
避難の方法	<input type="checkbox"/> 屋内待機 <input type="checkbox"/> 垂直避難(____階に避難) <input type="checkbox"/> 立ち退き避難
避難場所 自宅から避難場所までの経路や時間を実際に歩いて確認しましょう。	
避難場所	自宅から避難場所までの時間
【メモ】避難時の持ち出し品などについて、記入しておきましょう。	
非常時持ち出し品チェックリスト 下記はあくまで一例です。各家庭の事情に合わせたものを用意しましょう。	
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード・預金通帳・コピー機
水・食料	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 携行食・非常食(ビスケット・缶詰など)
医療・衛生用品	<input type="checkbox"/> 薬(救急医療品) <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・口腔ケア用品 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 消毒液
避難用品	<input type="checkbox"/> 液体せっけん <input type="checkbox"/> 非常用トイレ <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 入れ歯 <input type="checkbox"/> 眼鏡・コンタクト
道具類	<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> スリッパ <input type="checkbox"/> 車両 <input type="checkbox"/> ホイッスル
衣類	<input type="checkbox"/> 上着(防寒着)・下着・靴下 <input type="checkbox"/> 雨具(レインコート)
生活用品	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ・ティッシュ <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ゴミ袋・ボリ袋 <input type="checkbox"/> レジャーシート
家族の名前	連絡先
いざというときの連絡先 松山市内の市外局番は(089)です。 □消防(火災・救助・救助) (市外局番ナビ) 119 □警察(事件・事故) (市外局番ナビ) 110 □松山市消防局 926-9200 □松山市災害対策本部(設置時) 987-7000 火災・急救病院の問い合わせ(テレホンサービス) □火災 050-1809-1911 □救急病院 050-1809-1910 災害用テレホンガイド(松山市消防局)	
緊急連絡先	電話番号
病院()	
ガソリン会社	
電気会社	
水道	

まつやま
洪水ハザードマップ

堂ノ元川・洗地川版

松山市 防災危機管理部 危機管理課

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7-2

TEL:089-948-6793 FAX:089-941-1813

https://www.city.matsuyama.ehime.jp

令和7年(2025年)8月発行

浸水の深さを確認

あなたのご自宅は浸水何m?

5.0~10.0m の浸水



- 2階の屋根以上が浸水
- 水流が強い場合には、木造住宅が倒壊・流出する危険がある

3.0~5.0m の浸水



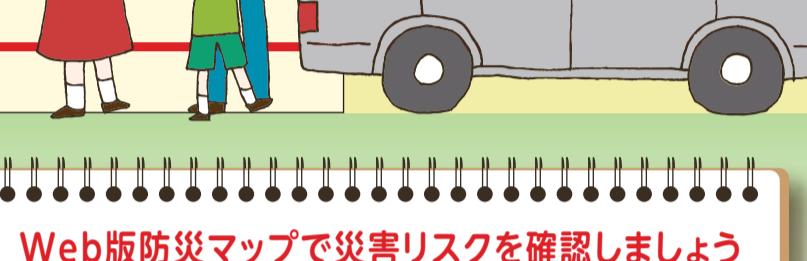
- 2階の屋根まで浸水
- 水流が強い場合には、木造住宅が倒壊・流出する危険がある

0.5~3.0m の浸水



- 2階の床下まで浸水
- 1階部分が浸水
- 強い水流の中を歩くことは危険

0.5m 未満の浸水



- 床下浸水 ●大人のひざ下程度
- 浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険

Web版防災マップで灾害リスクを確認しましょう
このハザードマップの浸水想定区域で、他の河川の水害や土砂災害、高潮のリスクある場合があります。Web版防災マップでは、災害の危険性をより詳しく確認できます。自分が住んでいる地域で、どのような被害が想定されているか、事前に確認し、適切な避難行動につけましょう。

- 1 「松山市防災ハザードマップ」にアクセス
[松山市防災ポータル] [地図]
- 2 「松山市Web版防災マップ」クリック
- 3 各河川の水位リスクを確認する場合は、上のメニューの「河川」から河川ごとに浸水想定区域を選択

- 1 各項目クリックで詳細情報が表示できます
- 2 「松山市Web版防災マップ」クリック
- 3 各河川の水位リスクを確認する場合は、上のメニューの「河川」から河川ごとに浸水想定区域を選択

選択したハザード情報が確認できます

選択したハザード情報が表示されます

いざというときの避難行動を確認

自宅が浸水する区域内にある。

自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)内にある。※注

立ち退き避難

洪水が発生した場合、自宅にとどまるることは危険です。

近隣の安全な場所や頑丈な建物へ移動しましょう。

自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫)内にある。

いいえ

洪水が発生した場合、自宅にとどまるることは危険です。

近隣の安全な場所や頑丈な建物へ移動しましょう。

いいえ

屋内待機

むやみな外出は控えましょう。

いいえ

浸水の深さが建物の最上階の床の高さを上回る。

いいえ

浸水が長時間(3日以上)継続する区域内にある。※注

いいえ

浸水が長時間(3日以上)継続する区域内にある。※注

いいえ

垂直避難

自宅の上階に移動しましょう。

いいえ

※注 堂ノ元川・洗地川の家屋倒壊等氾濫想定区域や浸水継続時間の想定は作成されています。

非常時に備え、
水・食料は1週間程度の備蓄をしておきましょう。

※マスクや消毒液、液体せっけんなども準備しておきましょう。

※トイレの備えも忘れないでしておきましょう。

断水や下水道の損傷などで、トイレが使えない場合があるので、準備が必要です。洋式便器に便をせざる袋や凝固剤がセットになったもののが便利です。

1人15分が準備の目安です。

防災気象情報の種類と内容を知る

災害発生の危険性を5段階でお知らせします

災害発生のおそれが高まった場合、市や気象庁などから様々な情報が発表されます。これらの情報に注意し、段階に合わせた適切な行動をとめましょう。

警戒レベル	市民の皆さんとるべき行動	避難情報等	警戒レベル相当情報
警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保	災害が発生・直ちにいる状況です。 命を守るために最善の行動をとめましょう。	緊急安全確保 (松山市が発令) 氾濫発生情報 大雨特別警報	など

警戒レベル4 危険場所から全員避難	避難行動をとめましょう。 直ちに安全な場所に避難して下さい。	避難指示 (松山市が発令)	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
警戒レベル3 危険場所は避難	直ちに危険な場所からなるとその支援者の避難行動をとめましょう。その他の人々は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (松山市が発令)	氾濫警戒情報 大雨警報
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意警報 (気象庁が発表)	など
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)	必ずしも、この順番で発表されるとは限らないので注意ください。

可能な範囲で発令されるものであり、必ずしも発令されるものではないことに注意してください。

*アンダーパスとは、立体交差で掘り下げによってある道路のことです。

*過去に発生した所は、大雨の時、再び浸水するおそれがあります。事前に確認し、避難する所はこのような所は避けましょう。

*過去の浸水(浸水実績)については、松山市のホームページで確認できます。

2次元コードで簡単アクセス!

松山市の浸水履歴 検索

操作方法(NHKの場合)

①テレビのリモコンの「Fボタン」を押す。

②「防災・生活情報」を押す。

③手元式のラジオがあれば安心です。

④愛媛CATVでは、「お知らせチャンネル12」で、市からの情報を自動で繰り読み上げます。

操作方法(Yahoo!防災速報)

スマートフォンなどをお持ちの方は、アプリで情報を確認することができます。

スマートフォンなどをお持ちの方は、防災情報や気象情報など、災害情報がpushtalk通知されます。

スマートフォンなどをお持ちの方は、Yahoo!防災速報

スマートフォンなどをお持ちの方は、防災情報や気象情報など、災害情報がpushtalk通知されます。